

事 務 連 絡
令和4年2月16日

関係社会福祉施設等の長 様

福井県健康福祉部長寿福祉課長

今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えた
高齢者施設等における対応について

新型コロナウイルス感染症対策に多大なる御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

県内では連日200人を超える新規感染者の発生が続いており、高齢者施設等においては、令和4年1月以降で約70施設・事業所で職員または利用者の感染が発生し、今後は、入院が必要な患者増加が懸念されます。

こうしたことから、重症化するおそれが低くなった感染者は退院基準を満たす前であっても早期に自宅、宿泊施設、高齢者施設等での健康観察に移行することなどによりコロナ病床での入院長期化を防ぐことが重要になります。

このため、各施設等におかれましては、退院基準を満たした方については、速やかな受け入れをお願いいたします。

また、厚生労働省はオミクロン株の感染者について、入院から4日目以降に酸素投与が必要な状態（中等症Ⅱ）以上になるおそれが低いことを示しており、退院基準を満たす以前でも、基礎疾患や体力、ADLの状態を踏まえ、医師が入院治療の必要ない軽症であると判断した場合等には、入院日を0日目として、4日目以降の時点で退院することがあります。今後さらに感染が拡大した場合にも入院治療が必要な患者を確実に受け入れる体制を確保するため、こうした退院者の受け入れについてもご理解とご協力をお願いします。

【担当】 福井県健康福祉部長寿福祉課

介護サービスグループ

電話 0776-20-0332 FAX 0776-20-0642

Mail hokaisei@pref.fukui.lg.jp

新型コロナウイルス感染症重点医療機関の長様

福井県健康福祉部長

新型コロナウイルス感染症患者の早期退院や療養解除後の転院について

新型コロナウイルス感染症対策に多大なる御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。県内では連日200人を超える新型コロナの新規感染者が確認され、また、高齢者施設でのクラスター発生もあり、高齢患者を中心にコロナ病床の使用率が高まっている状況です。

今後の感染拡大に備え、入院治療が必要な患者を確実に受け入れる体制を確保するためには、コロナ病床での入院長期化を防ぎ、早期に自宅や宿泊施設、高齢者施設での療養に移行することが重要になります。

厚生労働省はオミクロン株の感染者について、別添のとおり入院から4日目以降に酸素投与が必要な状態（中等症Ⅱ）以上の悪化を認めないものに関して、医療機関から宿泊療養・自宅療養への療養場所の変更などを積極的に検討することを示しています。

つきましては、下記のとおり自宅経過観察等への早期移行や後方支援病院等への転院を図っていただきますようお願いいたします。

記

1 自宅、宿泊施設、高齢者施設等での療養に早期移行

オミクロン株感染者については、入院日を0日目として、4日目以降の時点で早期退院を判断すること。

なお、療養解除基準（有症状の場合、発症日から10日間経過後等）は変更ありませんので御留意願います。

陽性者と生活を共にする家族や同居者の濃厚接触者としての待機期間は、「陽性者の発症日（無症状の場合は検体採取日）または陽性者の発症等により住居内で感染対策（日常生活を送る上での可能な範囲）を講じた日のいずれか遅い方を0日目として、7日間（8日目解除）」とされています。

（厚生労働省 令和4年2月2日付け事務連絡「新型コロナウイルス感染症の感染急拡大が確認された場合の対応について」）

2 ポストコロナ患者受入れ後方支援医療機関への転院

コロナ回復後も入院治療が必要な患者（ポストコロナ患者）は、後方支援医療機関への転院を徹底すること。

【事務担当】

福井県地域医療課医療体制強化グループ 山本

電話：0776-20-0397

FAX：0776-20-0642

メール：iryuu@pref.fukui.lg.jp

入院から宿泊療養等への移行の迅速化

現状・課題

- 療養解除基準にかかわらず、**入院患者について重症化の恐れが低くなった段階で自宅療養等へ切替えが可能**。1月12日に事務連絡を発出し、再周知済。
- どのような場合に「重症化の恐れが低くなった」といえるか、**エビデンスに基づき判断の目安を示す必要**。

対応案

- 入院日を0日目として、4日目以降の時点で中等症Ⅱ以上の悪化を認めないものに関して、医療機関から宿泊療養・自宅療養への療養場所の変更や後方支援病院等への転院について積極的に検討することを推奨**。
※療養解除基準（有症状の場合、発症日から10日間経過後）については変更なし。
- ただし、高齢者については留意が必要。また、デルタ株の場合、後から悪化する可能性もあるため、入院症例については、変異株PCRやゲノム解析を優先的に実施する。

現時点で得られている知見

国立病院機構の診療データベース(NCDA) (全国67病院)

- 全入院患者 (n=1321人) の中で、**入院から4日目以降に中等症Ⅱ以上となった患者は0.9%(=12人/1321人)**。

※1月5日～28日の入院患者のデータ

